



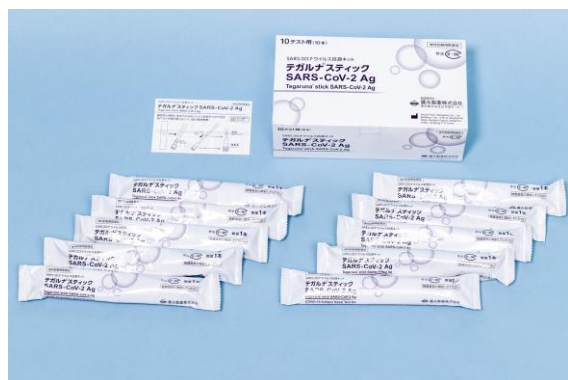
2022 年 11 月 29 日

各 位

会 社 名 クオールホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 敬  
(コード番号 3034 東証プライム)  
問い合わせ先 取締役 富 樫 豊  
T E L 03-6430-9060

## 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 抗原検査キット 「テガルナ®スティック SARS-CoV-2 Ag」 製造販売承認取得に関するお知らせ

全国にクオール薬局等の保険薬局を運営するクオールホールディングス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：中村 敬、以下クオール）は、グループ会社である藤永製薬株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：原田 亮）が下記の通り、新製品「テガルナ®スティック SARS-CoV-2 Ag」（新型コロナウイルス抗原検査キット）の製造販売承認を 2022 年 11 月 29 日に取得し、12 月 6 日から発売開始を予定しておりますので、お知らせいたします。



記

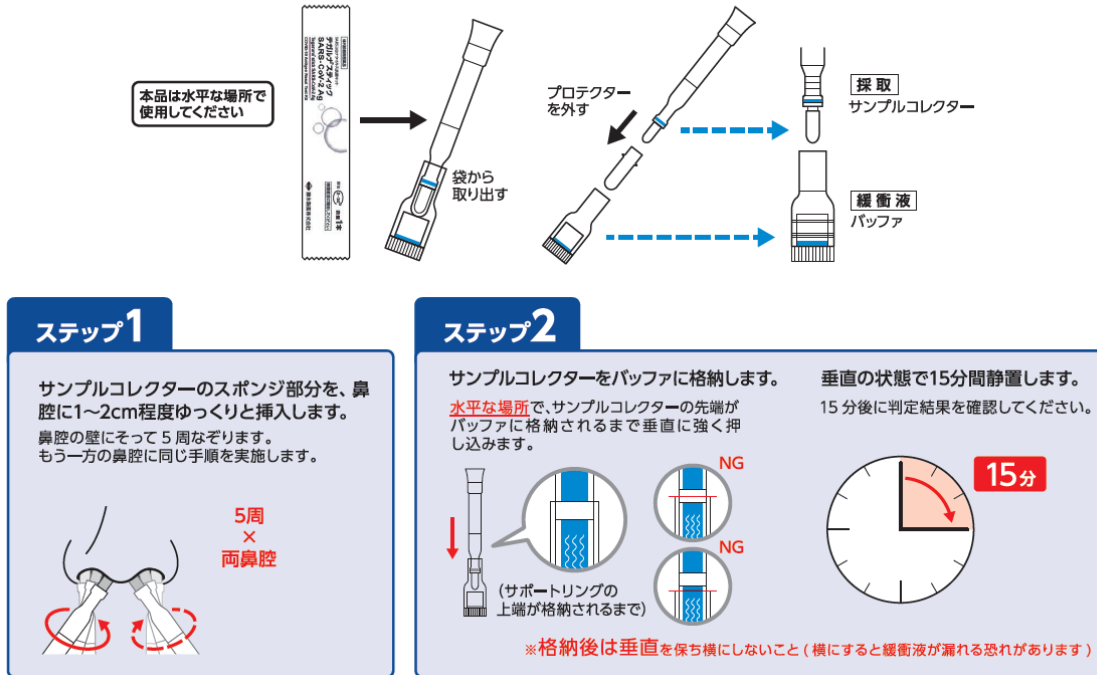
製 品 名	テガルナ®スティック SARS-CoV-2Ag
包 装 単 位	10 テスト用 (10 本)
使 用 目 的	鼻腔ぬぐい液中の SARS-CoV-2 抗原の検出 (SARS-CoV-2 感染の診断補助)
判 定 時 間	サンプルコレクターを抽出バッファデバイスにし差し込み後、 <u>15 分静置</u>
特 長	① 1 検査毎のパック包装 ② スティック型デバイス ③ 操作手順が 2 ステップ

今般、承認されました「テガルナ®スティック SARS-CoV-2 Ag」は、イムノクロマト法を用いて、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の診断の補助に使用いたします。1 検査毎のパック包装、滴下等の手間のいらないスティック型デバイスであり、操作手順が 2 ステップ、15 分で検出可能という特長を有しております。現在も拡大している新型コロナウイルス感染症の収束に向け、検査の新たな選択肢として検査体制の拡充へ貢献してまいります。

クオールグループは、今後も医療に携わる企業として、“あなたの、いちばん近くにある安心”をスローガンに、皆さまの安心な暮らしを引き続き支えてまいります。

## 使用方法

鼻腔ぬぐい検体に含まれる SARS-CoV-2 抗原を 15 分で判定、滴下など手間の要らないスティック型デバイス



### ■本取り組みに該当するクオールのマテリアリティ（重要課題）

クオールグループは、マテリアリティとして、「新しい医療価値の創出」「地域のクオリティ オブ ライフ向上」を掲げています。医療・ヘルスケア分野における新たなソリューションを創出すると共に、安心・安全な医療の提供、公衆衛生の向上を通じて地域コミュニティへ貢献してまいります。

クオールのサステナビリティに関する詳細は、こちらの web サイトをご覧ください。

(<https://www.qolhd.co.jp/sustainability/>)

マテリアリティ	重要テーマ
気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境負荷の低減</li> <li>CO<sub>2</sub>排出量の低減</li> <li>自然エネルギーの積極活用</li> <li>医薬品の廃棄削減</li> </ul>
地域のクオリティ オブ ライフ向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用創出</li> <li>高齢化社会への対応</li> <li>医療従事者への支援</li> <li>地域コミュニティへの貢献</li> <li>次世代への教育支援</li> <li>市民向け講座の実施</li> </ul>
従業員のクオリティ オブ ライフ向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイバーシティの推進</li> <li>福利厚生、労働環境の多様化</li> <li>人材開発の促進</li> <li>DX推進による人材の有効活用</li> <li>ワークライフバランス推進</li> </ul>
持続的な医療によるクオリティ オブ ライフへ貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン管理の強化</li> <li>医療継続を実現する組織力の強化</li> <li>総合ヘルスケア支援の強化</li> </ul>
新しい医療価値の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>パートナーシップ事業展開</li> <li>医療・ヘルスケア分野における新たなソリューションの創出</li> </ul>
コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会の実効性強化</li> <li>情報セキュリティの強化</li> <li>コンプライアンス強化</li> <li>BCPの確立</li> <li>適切な情報開示と透明性の確保</li> </ul>

クオールが掲げる 6 つのマテリアリティ（重要課題）